

ZENRAKUREN

MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報

若手後継者の本音／丹内翔夢さん^{しょうむ}

総務部だより

法人番号の「通知・公表」開始スケジュールについて

管理部だより

ネット犯罪とセキュリティ対策について
～標的型攻撃に関連して～

酪農家さんからの投稿コーナー



酪農トピックス／富安麻紀子氏 全国酪農青年女性酪農発表大会
最優秀賞受賞祝賀会盛大に開催される！（福岡）ほか

酪農業に対する理解を深めてもらうべく、PR活動を行います！

日本酪農見て歩紀（大分県杵築市山香町 田畑修一牧場）

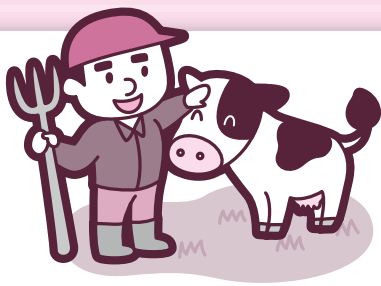


10

2015 October No.601



全国酪農業協同組合連合会



若手後継者の 本音 Vol.16

ホンネ

就農2年目。 ただいま勉強中。

今回は、岩手県岩手町 丹内牧場の後継者
丹内翔夢さんにお話を伺いました。



丹内翔夢さん

〔経営概況〕

所 属 岩手中央酪農業協同組合(佐々木勲代表理事組合長)
家族構成 丹内翔夢さん、父の良昭さん、母の恵子さん
飼養頭数 経産牛34頭、育成牛30頭

今回訪問した丹内牧場は、岩手県岩手町に位置します。昭和45年の岩手国体で、グラウンドホッケー競技の会場となったことを契機に町はホッケーを町技として取り入れ、今では小学生からお年寄りまで多くの幅広い年齢層の方々が親しんでいます。

丹内牧場は、翔夢さん(22才)の祖父が昭和30年代にこの地に入植したのが始まりで、父である良昭さん(45才)が平成14年に継承し、現在は経産牛34頭、育成牛を30頭飼養しています。良昭さんは酪農全般を、母恵子さん(45才)は搾乳を中心に、就農2年目の翔夢さんは、サブヘルパーをやりながらその他エサやりや牛舎掃除、畑作業などを行っています。

所属する岩手中央酪農業協同組合(佐々木勲代表理事組合長)は、組合員戸数164戸、生乳出荷量23,091t(H26年度)の組合です。

就農までの経緯を教えてください

小さい頃からグラウンドホッケーをやっていたとして、高校卒業まで土曜日曜もホッケー漬け、大学入るまで搾ったこともなかったんですよ。小6から中3では続けて全国大会に出場し、優勝2回、準優勝1回と、所属チームは結構強かったんですよ。高校は県内にホッケー部がある2校のうち、レギュラーの座を約束された(?)2番目に強い高校に進学しました。(笑)
大学進学の際もホッケーを続けようと考えて



搾乳牛舎

いましたが、畜産系の大学で勉強と両立できそうな大学は少なく、あっさりとホッケーをあきらめ地元の農業短期大学に進みました。親は『ホッケーをあきらめるのか!』と驚いていましたが、ホッケーで食べていけないわけでもないですしね。ホッケー漬けだったところから『継がなきゃいけないだろうな』という漠然とした気持ちが多量あって、でも全然すんなりでした。まあ酪農をやってみよつかなって感じでしょうか。

就農しての感想

短大を卒業し、地元酪農組合でサブヘルパーになりました。管内の農家を回って今も勉強中ですが『酪農は大変だな』って。毎日仕事で休みがないっていうのが第一印象ですね。うちの違いも段々見えてきました。例えば、配合飼料



牛舎前に広がる牧草地



手狭な哺育牛舎



堆肥処理には困っていません

酪農に対する思い

の給与回数や、搾乳の手順も『こんなに手間か
けているのか』なんてところも。逆に、除フン
するだけで敷料を全然入れなかったり、子牛の
管理スペースもないがしろにしていたりと、お
金を生まないところにお金をかけたくないので
しょうね、目につくところがあります。何が正
解か、本を読んだり研修会に出かけたりと、積
極的に吸収していかなければいけませんね。
1頭1頭個性が違うのが判ってくる、ちよつ
と楽しいですね。エサのやり方や、搾乳での接
し方なんか、機嫌を損なわないように注意して
います。

将来結婚して扶養家族が増えれば、この頭数
でどうなのかなっていろいろありますが、粗飼

料は自給を通したい。父もそうしてきましたし。
増頭するなら草地を確保したうえで、それに見
合った頭数でやっていきたいですね。使わなく
なった草地は私がすぐに引き受けますよ。(笑)
7月に浅草であった酪農発表大会(全国酪青
女主催)に行ってきましたが、あんなに多くの
酪農家が一堂に集まることにびっくりしまし
た。他県の方ともお話しして、新たなチャレン
ジをしている方が多くてびっくりしました。東
北代表で父が発表したとおり、うちの規模は大
きくもなく設備も古いものだらけですが、利益
率はそこそこありましたので『うちも結構いけ
てるな』なんて。地域や環境が違う分、それぞ
れに合致したやり方でそれぞれの方法で利益を
追求する。これが一番って方法は無いのでしょ
うが、何かを見つけるのには非常に良い大会に

参加できました。とりあえず、しばらくは親父
が築き上げてきた自給飼料100%のこの方法
を勉強しつつ継承し、いいものを見つければ取
り入れつつ、って感じですかね。

将来の目標

個体乳量がここ数年伸びてきていますの
で、それを維持させるためには良質粗飼料の
確保でしょう。全酪連のDMSシステムを
活用すると、将来像が見えてくると父は言
います。個体乳量を伸ばせば儲けがいくらなん
で見られますから。飼養管理も勉強して、確
実な繁殖を目指したいですね。後継牛の確保
のために事故を減ら
して。やることが沢
山ありますね。

短大時代の同級生
という彼女は非農家
出身。『酪農に理解が
あるので将来は…』
と期待が持てそう。
そのためには、地域・
環境に合致した儲か
る酪農をますます追
求していただきたい
です。

丹内さんより

全国の若手後継者の皆さんへ一言！

問題に直面してもくじけずに頑張っ
ていきましょう！



福岡
支所発

熊本県酪連赤チームが優勝!!

— 第40回九州・沖縄地区酪農団体職員親善スポーツ大会 —



▲ 優勝した熊本県酪連の皆さん

9月5日(土)～9月6日(日)の2日間、熊本県阿蘇市において第40回九州・沖縄地区酪農団体職員親善スポーツ大会が開催されました。

この大会は「九州・沖縄地区の酪農団体職員の資質の向上と親善ならびに団結を図る」ことを目的として毎年開催されています。

阿蘇プラザホテルで行われた恒例の前夜祭では、来賓として熊本県農林水産部生産局畜産課の中村秀朗課長、全酪連から小谷、北沢両常務並びに大会役員等を迎え盛大に開催となりました。九州・沖縄地区酪農団体協議会の尾形文清会長の主催者挨拶、中村秀朗課長、小谷常務の来賓挨拶の後、熊本県酪農農業協同組合連合会の吉田孝壽会長による牛乳での乾杯の発声により、前夜祭は幕を開けました。総勢189名の酪農関係団体職員が日々の業務を離れ、日頃できない話題に花を咲かせ交流する場面があちこちに見られました。地元阿蘇ミルク牧場・熊本県酪連職員による余興と各団体別カラオケ大会で歌やダンスが披露されると、会場は大いに盛り上がりました。

翌日は、場所を阿蘇市立体育館に移してミニバレーボール大会が開催され、開会式では、

くまモンも登場し、大会を盛り上げました。選手宣誓で鹿児島県酪協 後迫係長が「真っ白な牛



▲ 尾形会長(左)挨拶、
吉田会長(右)挨拶(懇親会)

乳のように、清く爽やかに競技する」と宣誓した通り、各チーム正々堂々と爽やかなプレーを繰り広げ、会場となった体育館では各チーム応援団の歓声、勝負がついたチームの一喜一憂の声が響いていました。決勝戦では激戦を制した熊本県酪連赤チームとふくおか県酪協白チームが対決。ハイレベルな攻防の末、優勝は地元熊本県酪連赤チームとなりました。また、3位には九販連白チームが入りました。

表彰式で熊本県酪連赤チームには大会会長賞・全酪連会長賞が、準優勝のふくおか県酪協白チームには中央酪農会議会長賞が、第3位の九販連白チームには九州酪農政治連盟協議会会長賞がそれぞれ授与されました。

最後に次回開催県である長崎県酪農農業協同組合連合会の中村隆馬会長が閉会の辞を述べ、来年の再会を約束し第40回大会の幕を閉じました。(K.S)



●大会結果

優 勝	熊本県酪農農業協同組合連合会	赤チーム
準優勝	ふくおか県酪農農業協同組合	白チーム
3 位	九州生乳販売農業協同組合連合会	白チーム



▲ くまモンとの集合写真

福岡
支所発

富安麻紀子氏 全国酪農青年女性酪農発表大会 最優秀賞受賞祝賀会盛大に開催される！

第44回全国酪農青年女性酪農発表大会の酪農意見・体験の部で最優秀賞を受賞した富安麻紀子さんの受賞祝賀会が、9月4日(金)メルパルク熊本（熊本県熊本市）において、生産者及び組合関係者約60名が出席した中、盛大に開催されました。

熊本県酪農業協同組合連合会 吉田孝壽代表理事会長、熊本県酪農青壮年部協議会 岩見誠也委員長の主催者挨拶に続き、熊本県農林水産部生産局畜産課 中村秀朗課長の祝辞を頂いた



▲ 富安さんご家族

後、牛乳による乾杯で祝宴が始まりました。

記念品贈呈では、富安さんのご家族全員が登壇。

麻紀子さんの娘さん（いちのちゃん3歳）が花束を受け取ると、会場からは温かな拍手が贈られました。その後、富安麻紀子さんが「皆様の強力な後ろ盾があったからこそこの受賞でした」と謝辞を述べられました。

祝賀会の後半で、富安麻紀子さんより『酪農！この愛すべき天職！』と題した発表が再演されると、会場は雰囲気が一変。「改めて聞いても、涙が出そうだ」という声が聞かれるほど、心のこもった発表に聞き入ってしまう方が多くいらっしゃいました。

終始祝福ムードに包まれた、素晴らしい祝賀会となりました。（K.S）



▲ 熊本県酪連 吉田代表理事会長(左)、熊本県酪農青壮年部協議会 岩見委員長(右)



うしさん、ごはん おまたせー

長崎県 前田牧場

今回は、長崎県 前田牧場から届いた写真「うしさん、ごはん おまたせー」です。娘も3歳になり、夕方になるとうしさんがお腹を空かせているのが分かり、自分の給餌車でエサやりを手伝ってくれます。

このコーナーでは、酪農家さんからいただいた写真を募集いたします。



投稿
募集中

日常の何気ない瞬間を写真に収めて、投稿してみませんか？掲載希望の方は、下記アドレスまでメールをお願いいたします。また、多数の応募をいただいた場合は、順次掲載となりますことをご了承ください。

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

法人番号の「通知・公表」開始スケジュールについて

平成28年1月から社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)がスタートします。

平成27年10月から、個人番号及び法人番号が順次通知されることとなりますが、今般、国税庁から法人番号の「通知・公表」開始スケジュールが公表されましたので、ご案内いたします。

個人番号は、住民票を有する全ての国民に対して通知され、社会保障・税・災害対策の分野で活用される12桁の番号です。会員従業員及び酪農家の皆様には、お住まいの市区町村から個人番号の通知カードが届きましたら(簡易書留で郵送される予定)、大切に保管していただきたくお願いします。

その他、詳細については、内閣官房ウェブサイト(マイナンバー 社会保障・税番号制度)をご覧ください。

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>

法人番号の通知書発送及び公表予定日

	指定対象法人の所在地(地域)等	通知書発送予定日	基本3情報の公表予定日
設立登記法人(国の機関・地方公共団体等含む)	国の機関・地方公共団体 東京都23区(千代田区、中央区、港区)	平成27年10月22日(木)	平成27年10月26日(月)
	東京都23区 (千代田区、中央区、港区以外)	平成27年10月26日(月)	平成27年10月28日(水)
	東京都(23区外)、北海道、青森県、 岩手県、宮城県、秋田県、山形県、 福島県、茨城県、栃木県、群馬県	平成27年10月28日(水)	平成27年10月30日(金)
	埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、 山梨県、長野県	平成27年11月4日(水)	平成27年11月6日(金)
	富山県、石川県、福井県、岐阜県、 静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、 京都府	平成27年11月11日(水)	平成27年11月13日(金)
	大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、 山口県	平成27年11月18日(水)	平成27年11月20日(金)
	徳島県、香川県、愛媛県、高知県、 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、 大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	平成27年11月25日(水)	平成27年11月27日(金)
設立登記のない法人・人格のない社団等	全国一斉	平成27年11月13日(金)	・設立登記のない法人については11月17日(火) ・人格のない社団等については、公表に同意する旨の書面を国税庁において収受したものから順次公表

平成 27 年 9 月

国税庁法人番号準備室

法人番号の「通知・公表」開始スケジュールについて

国税庁は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律上、法人番号の付番機関とされており、平成 27 年 10 月 5 日（月）の同法施行を迎え、法人番号の通知・公表等について、具体的なスケジュールを以下のとおり予定していることから、前もってお知らせいたします。

なお、法人番号は広く一般にご利用いただくことを前提としており、10 月 5 日（月）にインターネット上に「国税庁法人番号公表サイト」を開設し、基本 3 情報（①商号又は名称、②本店又は主たる事務所の所在地及び③法人番号）を順次掲載し、公表します。

1 法人番号指定通知書の発送等

(1) 設立登記法人及び国の機関・地方公共団体

設立登記法人については、10 月 22 日（木）から 11 月 25 日（水）の間に、都道府県単位で 7 回に分けて発送する予定です。

また、公表については、通知したものから順次行うこととしており、初回は 10 月 26 日（月）を予定しています。

※ 具体的な都道府県別の法人番号指定通知書の発送日は別紙のとおりです。

なお、国の機関・地方公共団体については、10 月 22 日（木）の発送、10 月 26 日（月）の公表を予定しています。

(2) 設立登記のない法人及び人格のない社団等

設立登記のない法人及び人格のない社団等については、11 月 13 日（金）に発送する予定です。

公表については、設立登記のない法人は、11 月 17 日（火）に行う予定です。

また、人格のない社団等は、あらかじめ代表者又は管理人の同意を得たもののみ公表することになっているため、公表に同意する旨の書面（法人番号指定通知書に同封する「法人番号等の公表同意書」）を国税庁において収受したものから順次公表する予定です。

2 法人番号指定通知書の送付先

法人番号指定通知書は、設立登記法人については、登記上の所在地、設立登記のない法人及び人格のない社団等については、税務署に提出された申告書・届出書に記載の所在地へ送付いたします。

問い合わせ先

法人番号準備室	課長補佐	小野（81-3815）
	課長補佐	齋藤（81-3814）
	課長補佐	磯邊（03-5800-1081（2110））

ネット犯罪とセキュリティ対策について ～標的型攻撃に関連して～

管理部 情報システム課

① はじめに

今年6月に日本年金機構で発生した101万人分という大規模な情報漏洩事件は、マスコミを賑わし「標的型攻撃」という情報セキュリティ用語が一躍有名になりました。その後も数々の企業、大学、政府関連機関や団体が標的にされた情報漏洩が連日のように報道されました。我が国だけでなくアメリカ合衆国や韓国でも大規模な情報漏洩事件が起きています。

報道された一連の情報漏洩事件には「標的型攻撃」によるものも、そうでないものもあり、一般にサーバー攻撃と呼ばれるハッキングによるものもあります。個人情報や機密情報を狙ったこれらの攻撃は、経済的、政治的、軍事的目的を持ち、過去にあった愉快犯的なハッキング行為とは全く異なっています。以前はコンピュータウイルスやシステムハッキングは愉快犯と思われるものが多くありましたが、近年のネット犯罪は明確に、経済的利益または政治的、軍事的利

益を目的としているものとなり、より悪質化、巧妙化しています。実際、日本年金機構がセキュリティに無策であったかと言えば、そうではありません。確かに規約違反のルーズな状態があったとはいえ、一般の中小企業などより嚴重であったはずで、ウイルス対策などは当然ながら実施されていました。では、何故コンピュータがウイルス感染したのかと言うと、メールに仕掛けられていたウイルスはウイルス対策ソフトに検出されないものだったからです。犯人たちは、ウイルス対策ソフトに検出されないか、事前にテストしているのです。

標的型攻撃は、本当に狙われたらほぼ防ぐことができないと言われています。狙われるのは、主に大量の個人情報や極秘情報など価値のある情報を持った大企業や官公庁、教育機関などです。犯人グループは、標的の情報、場合によっては個人を標的として情報を収集し、様々な手口で攻撃を行います。ガードの弱い取引先等から本物の業務連絡メールを入手して偽メールを作り、ウイルス付メールを開

けさせようと画策したりします。何度も手を変え品を変えながら周到に計画した攻撃を繰り返し、目的を達成するまで止めません。獲物が大きければ見返りも大きく、その獲得に手間を惜しんだりはないということです。

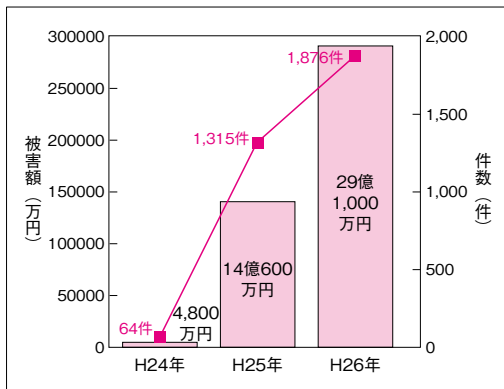
② 身近な ネット犯罪の危険

「標的型攻撃」は大企業や官公庁が標的ですが、われわれもネット犯罪と無関係ではられません。個人や一般企業に対するネット犯罪も、近年進化を続け巧妙化しており、被害額も年々増加し続けています。インターネットバンキングやネットショッピング等のクレジット決済を含むウェブサービスの利用が普及してきていますが、それに伴いネット犯罪の被害にあってしまうことも、多くなってきました。標的型攻撃の手口は、一般のネット犯罪に使われているものと全く違うものではありません。一般的な手口を、標的に合わせてカスタマイズし、より巧妙に仕

掛けていって良いでしょう。

警察庁の発表によると、インターネットバンキングに係る不正送金事件の件数及び被害額は、平成24年には64件約4,800万円でしたが、平成25年には1,315件約14億600万円、平成26年は1,876件約29億1,000万円と急激に増加しているそうです。件数増加に比較して被害額増加が大きいのは、企業が被害を受けるケースが多くなっているためです。標的型攻撃のように対象を絞った攻撃ではなく、不特定多数を狙ったものですが、罠にかかってしまう方も少なくは無いということです。

インターネットバンキングに係る不正送金事件数の推移



3

ネット犯罪の手口

インターネットバンキング、ウェブサービスを対象としたネット犯罪の手口は、ユーザーIDとパスワードを入手しての「なりすまし」を狙ったものです。直接に銀行等のサーバーを攻撃してユーザー情報を盗む手口もありますが、個別のユーザーを狙った手口には下記のようなものがあります。

① コンピューターウイルス

メールの添付ファイルやウェブサイトに仕掛けたウイルスに感染させるのが一般的です。

パソコン内のデータを外部に送信する、銀行との通信を監視して情報を盗む、パソコンを外部から操作可能にするなどいろいろなことをします。

② フィッシング詐欺

「情報漏洩が起きた」などと銀行やウェブサービス会社か

らのメールを偽装したメールを送り、メールに記載した偽ウェブサイトに誘導し、ID・パスワードを入力させる手口です。

以前は日本語が明らかにおかしいなど稚拙なメールもありましたが、現在はそのようなことも少なくなっています。偽サイトも本物と見まがうようになってきたものになっていくようです。皆さんも銀行やウェブサービス会社から警告を受けておられるのではないのでしょうか。

③ ウェブサイト改ざん

本物のウェブサイトをハッキングして改ざんしてしまうものです。かつては見た目を変えるものが多かったのですが、現在は、入力されたID・パスワードを収集したり、偽サイトにジャンプさせたり、ウイルスを仕掛けたりすることが主になっています。本物のサイトですから、ユーザーにとって見破るのは困難です。

4

ネット犯罪の被害者にならないために

知らぬ間に銀行口座からどこかへ送金されていた、自分のパソコンから勤務先の情報が流出していたなどと被害者とならないためには、どうすれば良いのでしょうか。ネット犯罪に対する対策としては、下記のようなものが挙げられます。

(1) ウィルス対策ソフトを導入し最新の状態にしておく。

先に記したウィルス対策ソフトに検出されないウィルスには無力とはいえ、タイムラグはあるものの遅かれ早かれ対応されます。最新のウィルスに攻撃されなければ有効と言えます。

(2) Windowsや他のソフトウェアを最新にしておく。

Windowsアップデートや各種ソフトのアップデートで脆弱性対策が実施されています。ウィルスやウェブを利用した攻撃も脆弱性を利用して行われて

います。時々耳にする「ゼロデ
イ攻撃」とは脆弱性の存在がわ
かってから、脆弱性対策が行わ
れるまでの間に行われる攻撃の
ことです。

(3) ID、パスワードの管理

①ある程度の長さがあり推測さ
れにくいパスワードにする。

推奨は8文字以上で数字、
アルファベット大文字小文
字、記号を組み合わせたもの。

②複数のサービスで同じID、
パスワードを使い回さない。

ウェブサイトやサーバ
攻撃のためID、パスワード
が盗まれた場合、犯人は同じ
ID、パスワードを使って他
のサービスへの不正アクセ
スを試みます。使い回してい
ると他のサービスでも被害
を受けてしまいます。異なる
文字を付加するなど対策し
ましょう。

③認証の強化

サービスによってはワンタ
イムパスワードや電子証明書
などを利用した多要素認証と

言われる方式が利用できま
す。特に、金銭が関係する場合
は出来るだけ認証方式を強化
しましょう。

(4) クリックする前に画面をよく見る。

たとえばメールを受信した
時、本物なのか、メールを開く
前や、添付ファイルをクリック
する前に確認しましょう。メー
ラーをテキスト表示にしておく
ことも有効です。

・送信者のメールアドレスは
大丈夫？

取引先のメールなの
に、送信者のアドレスが
xxxxx@abcd.comなどいつ
もと違う。

表示名はメールで送られ
て来るので嘘かもしれませ
ん。

・添付ファイルのファイルタ
イプは？

多くの場合添付ファイ
ルの実行でウイルスが感
染します。アイコンをワー
ドなどに偽装してexeファ

イルが添付されていたりし
ます。Windowsの設定は、
ファイルタイプを表示する
ようにしておきましょう。
画像ファイルもウイルスが
仕掛けられます。不審な物
は開かないでください。

・文章に変なところはないで
しょうか？日本語がおかし
いことも見受けられます。

ウェブサイトの場合は難
しいですが、

・日本語がおかしい、いつも
と文字や色などデザインが
違う。

・上部のアドレス欄表示
(URL) http://www.
abcdbankco.jp/の部分が
変わっていないか。

(5) 不要なインターネットアクセスは避ける。

金銭を扱うサービスを使つた
り、重要情報にアクセスできる
パソコンでは他のインターネッ
ト接続は出来る限り行わない
ようにしましょう。法人の場合
は、インターネットバンキング

専用端末とすることが望ましい
です。手口が巧妙化し、法人口座
の不正送金被害が激増していま
す。怪しいサイトでなくても改
ざんされ罠が仕掛けられている
ことがあります。

5 結び

ネット犯罪には他にも種類があ
るのですが、本稿ではウェブサー
ビス関係に絞りました。最近のイ
ンターネットサービスの進化、普
及は目覚ましいものがあります
が、それに伴いネット犯罪も進化
しています。数年前までインタ
ネットバンキング詐欺はほとん
ど欧米対象だったのですが、今や
ウイルスも日本語対応している時
代となっています。

危険回避のためにはできる限り
自分でセキュリティに気を配るこ
とが求められています。



田畑修一牧場の皆さん ▲

No.269
田畑修一牧場
大分県杵築市山香町

酪農を楽農に!!

地域の紹介

田畑牧場がある杵築市山香町は、大分県の東部、国東半島の南端部に位置しています。山香三山と呼ばれる雲ヶ岳、津波戸山、鋸山の山々、松尾川上流にある羽門の滝、アウトドアも体験できる大分農業文化公園があるなど、自然豊かな町です。

田畑牧場が所属する大分県酪農業協同組合（清末健一代表理事組合長）は、酪農家戸数126戸、年間生乳生産量は75,733t（平成26年度）であり、その内、山香町では9戸の酪農家が営農しています。

田畑牧場の概況

田畑牧場は、経産牛50頭、子牛・育成牛14頭、和牛繁殖牛26頭の計90頭を飼養しており、フリーバーン型牛舎1棟、育成牛舎1棟、和牛牛舎1棟が立ち並びます。

修一さん（34歳）のご家族は、奥さんの綾子さん（34歳）、父大治さん（65歳）、母陽子さん（63歳）と3人のご子息（呉飛くん6

歳、颯土くん4歳、真慧くん1歳）の7人家族です。奥さんのお腹には、将来のご子息が宿っているため、もうすぐ8人家族になるそうです。また、弟さんご夫婦が、隣接する別牛舎で和牛繁殖を行っています。

牧場の飼養管理（給餌、除糞、哺乳、授精等）は修一さんがメイン



▲弟さんご夫婦



ンで行っており、父大治さんが経営管理と和牛、堆肥管理を行っています。搾乳は母陽子さん、業務全般は奥さんの綾子さんが行います。3人のお子さんもお手伝いを積極的に行うそうで、牛舎では賑やかな声が響きます。



▲育成牛舎



▲搾乳牛舎

田畑牧場のおいち

田畑牧場は、昭和54年に父大治さんが、大分市の酪農家から4頭搾乳牛を譲り受けたことから始まります。昭和54年以前にも乳雄肥育牛を120頭飼養したり、和牛を飼養していたこともあったそうですが、搾乳がしたいという想いを実現するため、念願の酪農を始められました。徐々に頭数を増やしながら経営を続け、平成4年に現在の牛舎を建てたときには30頭規模になっていました。平成14年に修一さんが大学卒業後に就農した後も規模拡大を続け、現在の50頭規模となりました。また、搾乳牛舎を建てた同時期に受精卵移植のために和牛を1頭飼いはじめ、こちらも現在は26頭にまで増えています。

飼料高騰・飼養管理に対する工夫が盛り沢山

田畑牧場では、年間を通して粗飼料を購入することはありません。自給飼料12haの土地に夏はヒエ、秋冬はイタリアンとライ麦



▲搾乳牛舎内

を作付していますが、10年前から耕種農家と堆肥を交換することで、WCS 19ha（乳牛用）、稲わら 15ha・麦わら 30ha（和牛用）分の粗飼料を得ています。2年半ほど前には一部、粗飼料を購入していたようですが、給与体系を見直すことで、飼料代は大幅に抑えられました。修一さんは、「乳量が3.4kg減つても、飼料代をそれ以上に抑えた分利益は上がったし、乳質は変わらなかった」と語っておられました。ただ、牛も人も給与体系に慣れるために半年はかかったんですよ。」と当時の苦労もおっしゃっていました。

また、フリーバーン牛舎では珍しく、全頭分離給与を行っています。1日3回、連動スタンションに牛を固定し、1頭1頭の乳量やBCS、牛検データを基に修一さんが給餌を行います。1回あたり約2時間の作業とのことですが、個体管理ができるためこの方法は欠かせないとのことでした。

さらに、6頭シングルのパラレルパーラー方式での搾乳は、牛が渋滞しないよう手作りの板を活用し、牛が1房ごと入るよう工夫すること、1人でも作業できるような方法を取られています。1人



▲6頭シングルパーラー。

牛が1頭入るとそれ以上入らないよう手作りの板が通路を塞ぐ

でも1日2回、2時間程度の作業です。乳量計も6機全てについていることから、日々の乳量チェックも可能になっています。

授精についても、初産・経産に関わらず、初回は雌雄選別精液を活用し後継牛を確保しつつ、1/3は弟さんが和牛受精卵移植を行うことで、副収入にもなっています。

田畑牧場では、家族分業制をとっていますが、家族間の声掛けが適切に行われていると感じました。

青年部・地域の活動

山香地域では20〜30代の若い後継者が多く、活気があるため、年間を通じて様々な活動があるとのことですが、今年度から大分県全体で青年部の交流会も開催されるようになりました。「今まで顔見知りだった人とも触れ合えるようになり、より活気が出てきました。」と嬉しそうに話してくださいました。

田畑牧場では、酪農教育ファーム認証を6年前に取得しており、



◀ 哺乳実験の様子

保育園から一般の方まで幅広く体験受け入れを行っています。搾乳・哺乳体験やバター・アイス作りなど、年齢に応じた体験をしてもらうのですが、年間を通すと数百人単位で受け入れを行っています。体験料は1団体1万円プラス1人あたり500円と設定していますが、「体験料をもらっても準備等に費用がかかり、黒字にはならない」とのことでした。体験受け入れを行う理由を伺うと、「牛嫌いになった子がいても、『来年



▲9月26日に行われた大分県全共予選会

は触れるようになるう』と励ますことができるのは、毎年受け入れしているからだと思います。高校生なども、牛が生きていることに素直に感動してくれるのが、とても嬉しいんですよ。そういう子は、牛乳に対する考えも変わると思います。」と、普段とは違う環境に身を置くことで、いろいろなことを体験してほしいと、思いを語ってくださいました。

また、地域の数多くの役員としても活躍され多忙な中ではありま

すが、共進会にも熱心であり、取材翌日の大分県全共予選会にも出品され、見事、全共への出品が決まりました。

田畑牧場の今後

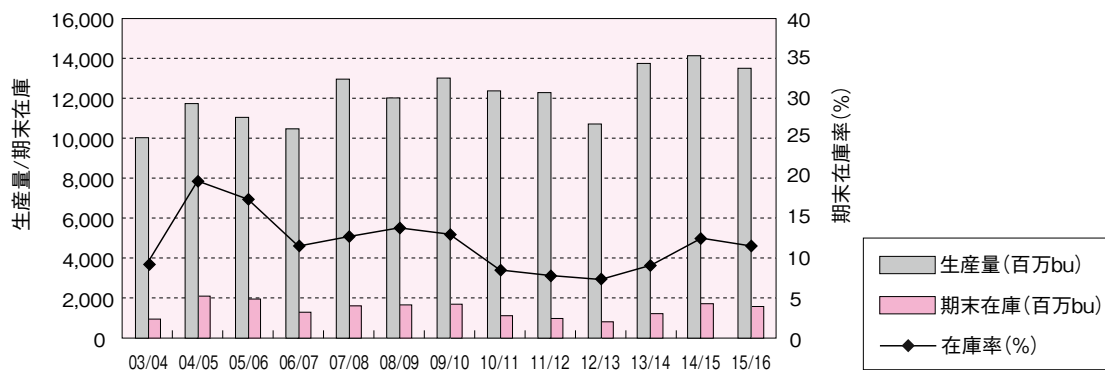
自給飼料換算では、これ以上の増頭は難しいため、現状維持を掲げておられる田畑牧場ですが、「昨年はスタンションを入れ替えたし、今後も換気扇の増設など、カウコンフォート心を心がけることで長命連産を目指したい」とのこと。ゆくゆくは次代の経営者となり、その子供達まで繋げるために、その眼はまっすぐ将来を見据えておられました。

修一さんがこれほどまで活躍できるのは、温かいご家族と、地域の仲間とのつながり、将来に対する想いが溢れているためなのだと感じる事が出来ました。田畑牧場の皆様に多大なるご協力を頂きましたことを感謝申し上げます。共に、ご家族の皆様のご健康、ご多幸と田畑牧場のご発展を祈念いたします。

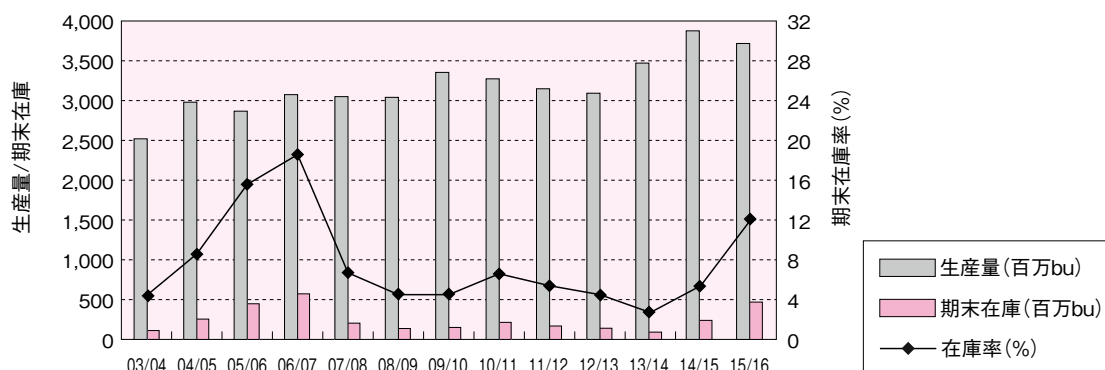
原料情勢 平成27年9月

9月11日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	【14/15年度】 作付面積90.6百万エーカー、単収171.0bu/エーカー、生産量142億1,600万bu、総需要量137億4,500万bu、期末在庫17億3,200万bu、在庫率12.6% 需要面が増加し、期末在庫は減少。
	【15/16年度】 作付面積88.9百万エーカー、単収167.5bu/エーカー、生産量135億8,500万bu、総需要量137億5,500万bu、期末在庫15億9,200万bu、在庫率11.6% 需給両面で減少し、期末在庫は減少。
トウモロコシ 相場動向	8月の発表以降、民間調査会社の作柄調査でコーンベルト東部地域での生育状況の悪化が伝えられると、相場は反発し堅調に推移していった。しかし、8月下旬の世界同時株安日を機にトウモロコシも売りに押され、発表前日まで軟調に推移し、発表前日は374-1/4¢(12月限)で取引を終えている。今後のシカゴ相場は、供給面での単収の悪化から生産量が減少したが、輸出需要では変更がなかった。一方で、例年対比で遅れていると言われている米国農家の売りも出始めてきており、狭い範囲での値動きになると思われる。
9月11日発表 米国農務省 大豆需給予想	【15/16年度】 単収は前月に続き上方修正され、生産量も増加したが、旧穀の繰越在庫が減少したため供給量は前月より減少した。事前予想平均を上回ったが、トウモロコシの上昇につられ前日比1/4¢高の874-1/4¢(11月限)で当日の取引を終えている。期末在庫4億5,000万(前月4億7,000万)bu、在庫率12.1(12.6)%
大豆粕相場動向	国内産大豆粕相場は、ここまでのシカゴ相場の高騰、為替の円安を受け強含みで推移していたが、今回のUSDAの発表で生産量・期末在庫が予想を上回る内容になった事から上げ幅は限定的になる模様。輸入品については、中国での豚肉需要の回復から中国国内での大豆粕需要も回復し、シカゴ相場程下がらず若干強含みの展開となっている。
糖糖類	【一般フスマ】今後の見通しは、12月末の粉価改定を前に小麦粉業界では様子見ムードが広がっており、秋口の粉砕量は少なくなると見られている。今後、配合飼料製造が多くなる年末に向けてさらに需給が更に逼迫すると見られ、相場は強含みで推移していくと思われる。 【グルテンフィード】今夏は異性化糖需要が低調終わったことから発生量・繰越在庫ともに少なく、フスマ同様に配合飼料製造が多くなる年末にかけ需給は引き締まり、強含みになると思われる。
海上運賃	海上運賃は中国の景気不透明感から軟調に推移しているものの、現在の価格帯では船主は採算割れの状態であることから、さらなる値下げの余地は限られている。むしろ原油相場は下げ止まりの兆しを見せており、原油が反転上昇すれば海上運賃も反転上昇する可能性もあり、注意が必要である。

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移



輸入粗飼料の情勢

平成27年9月

北米コンテナ船 フレート	アジアから北米に向けた貨物は米国内の11月連休やクリスマス商戦に向けて徐々に増加しているが、逆に北米からアジアへの貨物は中国向けを中心に減少している。このため海上運賃は低水準で推移しこのまま続くと思われたが、各船会社は欧州航路で採算が取れていない事例が多く、また貨物減少による滞船料が発生しているなど、収支改善が急務となっていることから、一部で10月1日からGRI（基礎レート値上げ）の要請が上がっている模様。一方で、ターミナル内での作業の混雑は依然として続いており、貨物取扱量がピークを迎える10月頃までに状況の改善が見られない場合、更なる混雑が予想され、引き続き動向に注意が必要である。
ビートパルプ	【米国産】 作付前後は天候に恵まれない時期が続き生育不良を懸念する要因が多かったが、生育期は天候に恵まれ、例年通りの作柄となった。全米の砂糖工場では9月上～中旬にかけ順次製糖作業が開始されている。 【中国産】 引き続き内需の高まりから輸出余力のない状況が続いている。一方で、中国のビートパルプ輸入解禁に向けた動きが進められているが、中国政府の動きは非常に慎重であるためすぐに解禁されるとは考えにくい。中国の輸入解禁が市場に与える影響は非常に大きく、今後の動向に注意が必要である。
アルファルファ	【ワシントン州】 史上最悪の降雨被害に見舞われた1番刈り、急激な気温上昇により過乾燥気味に仕上がった2番刈りと不調な作柄であったため3番刈りへの期待が高まったが、2番刈り同様に気温が高く、山火事の影響で乾草までに時間がかかり高品質なものは発生しにくい環境となっている。現在、産地の気温は25℃前後と冷涼になっていることから4番刈りは期待できるが、4番刈りに需要が集中し価格上昇に注意が必要である。 【オレゴン産】 クラマスフォールズで7月中旬に始まった2番刈りは30%程度雨に当たっており、この時期としては朝晩の気温が冷涼だったことから夜露が多く、例年よりブリーチ（変色）が多くみられる。クリスマスバレーでも降雨被害があり、2番刈りの50%程度が雨に当たったと言われている。雨を逃れたものについては1番刈りに比べ価格は下がっているものの、他産地と比較するとかなり高い価格帯で推移している。この地域での3番刈りは9月中旬より開始予定。 【ネバダ州、ユタ州】 ネバダ州広域で7月上旬に降雨があり、50～70%が降雨被害を受けている。その被害を免れた物の品質は例年並みで緑目が強い傾向にある。価格は国内外ともに引き合いが強い地域のため、他産地に比べ強含みで推移している。一方、ユタ州では現在3番刈りが進行中で、2番刈りの収穫後から現在まで降雨はなく、収穫は順調に進んでいる模様。 【カリフォルニア産】 南部エルセントロでは現在6番刈りが進行中だが、多くはサマーヘイとなっており、輸出には不適な物の生産が中心となっている。この地域は中国向けに多く出ているが、8月は通貨切り下げにより為替が4%強ドル高に振れた影響もあり、中国向けの輸出量はやや減退感が出てきている。
チモシー	【米国産】 8月は若干湿度が上がったために全体的に茶葉の混入が見られ、中間グレードが多い。1番刈りで馬向けの発生が少なかったため、限られた2番刈の良品は馬向けと競合し、この上級品の価格は強含みで推移すると予想される。 【カナダ産】 南部レスブリッジでは、刈取り時期の天候が不安定だったことから例年に比べブリーチ（変色）が多く、下草も濃いものが多い傾向で中間グレードが多く発生している。一方、アルバータ州中部は早魃の影響を強く受けており、さらに刈取り開始後の2週間ほど天候が安定せず、収穫適期を逃した圃場は刈遅れが懸念されている。現在、例年に比べ20%ほど単収が落ち込んでいると見られている。
スーダン	エルセントロ地区では収穫の終盤を迎えている。8月初旬にも雨嵐が発生し、刈取適期を逃し茶葉が多いものや高湿度による過剰な変色が見られるスタックが多くなっている。一方でカリフォルニア州北部では、今のところ降雨などの影響はなく作柄は比較的良好だが、エルセントロの不作により北カリフォルニア産への引き合いが例年より強まる事が予想される。
クレイングラス	現在4番刈りが進行中で、8月初旬の大雨以降は天候が比較的安定しており、良品が期待できる可能性は残っている。今年の作柄・品質は不安定な天候の影響で、刈取番手、刈取時期、圃場ごとの品質差が昨年、一昨年より大きい傾向となっている。
ストロー類	産地では7月末に若干の降雨があったものの、作柄へ大きく影響するものではなく、8月下旬に収穫を終えている。生育期は早魃傾向で気温も高かったことから早めに結実し、茎も短めのものが多く発生している（単収も減）。現地での新穀の買付はスローな様相で、価格も弱含みでスタートしている。
オーツヘイ	【豪州全体】 豪州全域での15年産播種は終了している。オーツの作付面積は昨年比で増えているが、オーツ麦価格の上昇が要因だと見られており、生産農家が収穫期に「オーツヘイ」か「オーツ麦」どちらを選択するのかによっては「オーツヘイ」の生産量が減少する可能性があるのでは注視が必要。 【西豪州】 6月は乾燥していたが、7～8月に例年並みの降雨があり北部の土壌水分は十分な状態である。一方、中部では降雨はあったものの例年並みまでは届かず、土壌成分はやや不足している。 【南豪州】 西豪州同様に乾燥していたが7～8月に降雨があり、土壌水分は問題ないレベルである。今のところ生育も順調で、例年以上の収穫が期待されている。早い圃場では9月上旬から刈取りが開始される予定である。 【東豪州】 西・南豪州同様に7～8月にかけて降雨があったものの、大半の地域では土壌の水分不足が懸念され続けている。

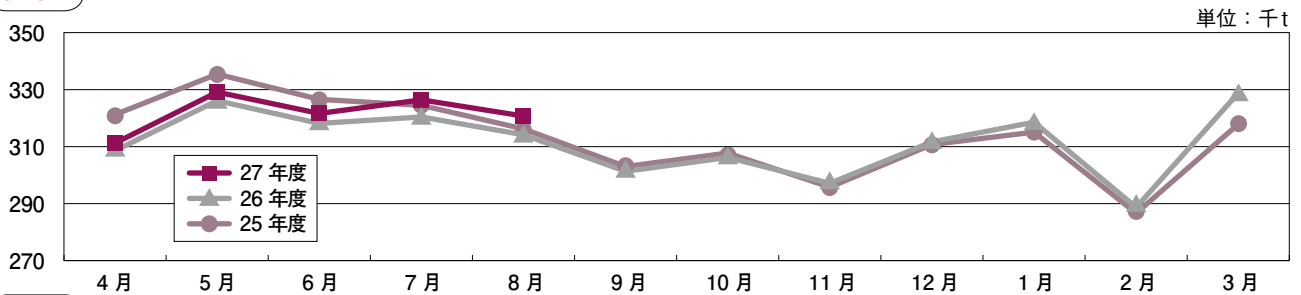
生乳受託販売乳量

受託販売乳量

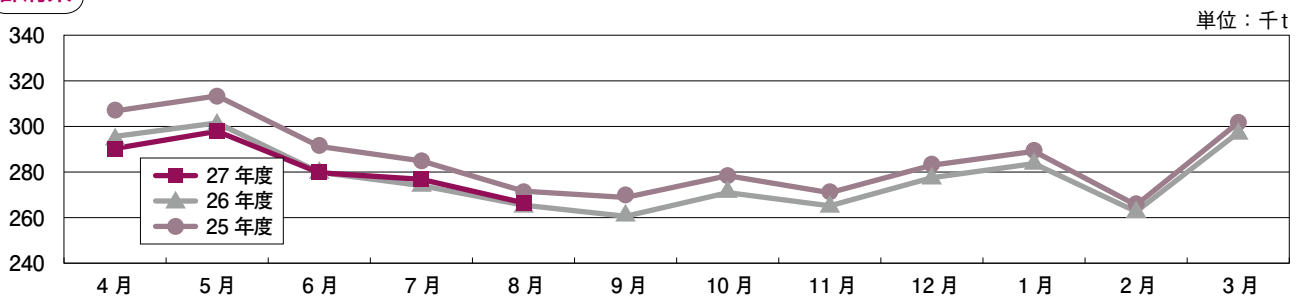
全国 587,222t で、前年同月比 7,571t(1.3%) 増加
北海道 320,732t で、前年同月比 6,557t(2.1%) 増加

都府県 266,490t で、前年同月比 1,014t(0.4%) 増加

北海道



都府県

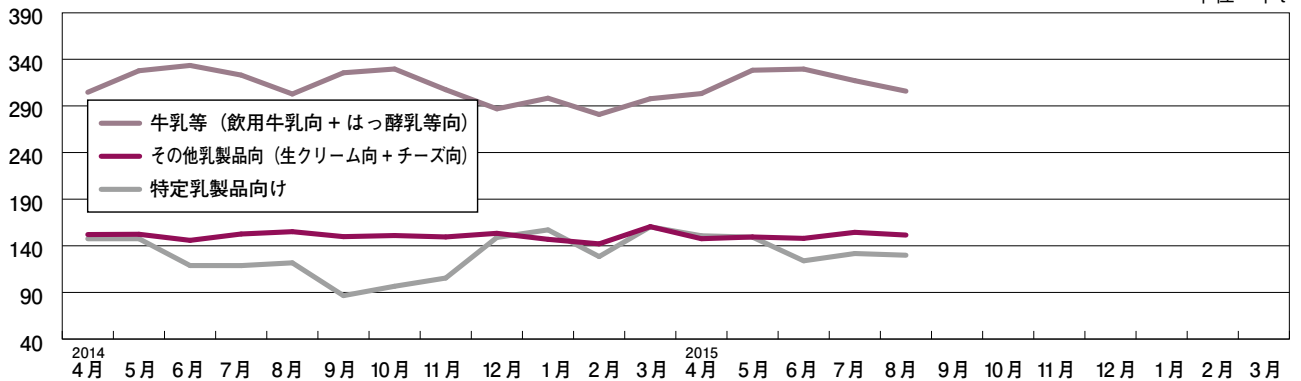


用途別販売数量

飲用向 266,310t で、前年同月比 1,486t(0.6%) 増加
はっ酵乳向 39,503t で、前年同月比 1,570t(4.1%) 増加
クリーム向 112,590t で、前年同月比 2,927t(2.5%) 減少

チーズ向 38,918t で、前年同月比 719t(1.8%) 減少
特定乳製品向 129,902t で、前年同月比 8,161t(6.7%) 増加

単位：千 t



各地の需給動向

【東北】8月生乳生産は100.1%。上旬は域内乳業者の処理が好調。盆明け以降は気温も下がり、落ち着いて推移した。飲用向けは99.7%、はっ酵乳向けは112.4%、特定乳製品向けは89.3%となった。

【関東】生産量は102.0%と好調。上旬は猛暑の影響あり一番底となったが、盆前後から涼しくなり回復した。飲用牛乳向け処理量は昨年不調の反動もあり前年比103.7%。特定乳製品向けは99.9%となった。

【東海】生産は前年比96.5%。処理は前月の繰越しが多かったことと、盆明けは天候不順から飲用消費伸びず、逼迫感なかった。飲用牛乳向けは97.2%、特定乳製品向けは69.7%。

【近畿・中国・四国】生産は近畿100.1%、中国100.0%、四国95.8%。処理は上旬の猛暑で増加したものの、盆明けは涼しくなり落ち着いた。飲用牛乳向けは近畿100.8%、中国100.8%、四国97.1%。

【九州】生産は前年比101.7%。処理は上旬、暑さの影響から全体的にタイトとなった。盆以降、雨天と低温が続き低迷した。結果的には飲用牛乳向けは100.3%、特定乳製品向けは93.9%となった。

用途別生乳処理量

単位：千t

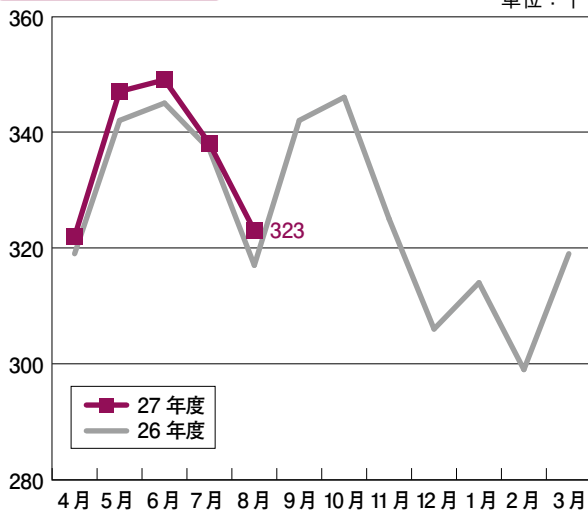
年月	生乳生産量	用途別処理量計							年月	生乳生産量	用途別処理量計						
		乳製品向									乳製品向						
		牛乳等向 ①	特 定 乳製品向 ②	その他乳製品向				牛乳等向 ①			特 定 乳製品向 ②	その他乳製品向					
				クリーム向 ③	チーズ向 ④	クリーム向 ③	チーズ向 ④										
2014. 4月	627	622	319	303	148	155	112	43	2015. 4月	625	620	322	298	148	150	114	37
5月	650	645	342	303	148	155	112	44	5月	649	644	347	297	151	146	109	37
6月	619	614	345	269	120	149	108	41	6月	625	620	349	271	126	145	107	38
7月	618	613	337	276	120	156	113	43	7月	629	624	338	286	133	153	110	43
8月	600	595	317	278	126	153	111	42	8月	608	604	323	281	133	148	107	41
9月	583	578	342	236	88	148	109	39	9月								
10月	598	593	346	247	100	148	112	36	10月								
11月	584	579	325	254	107	147	112	35	11月								
12月	613	608	306	302	151	152	111	40	12月								
2015. 1月	624	619	314	304	158	146	105	41	2016. 1月								
2月	573	568	299	269	128	142	101	40	2月								
3月	642	637	319	319	159	160	117	43	3月								
年度計	7,331	7,271	3,910	3,361	1,552	1,810	1,324	486	年度計	3,136	3,113	1,680	1,433	690	743	547	196

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

単位：千t未満を四捨五入した数値を標記しているため、各項目の合計と表の合計とが合致しない場合がある

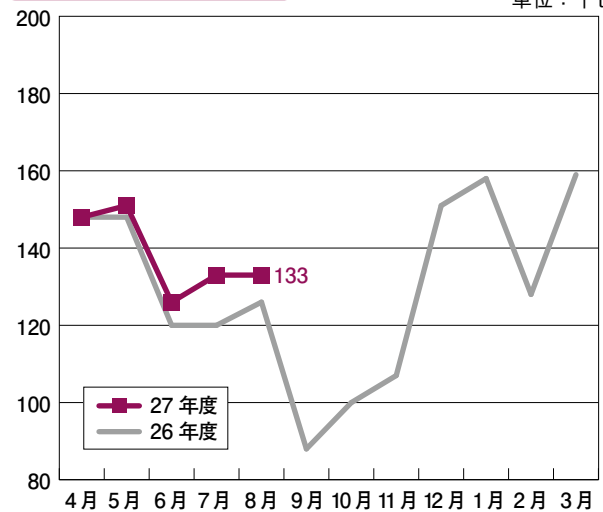
① 牛乳等向処理量

単位：千t



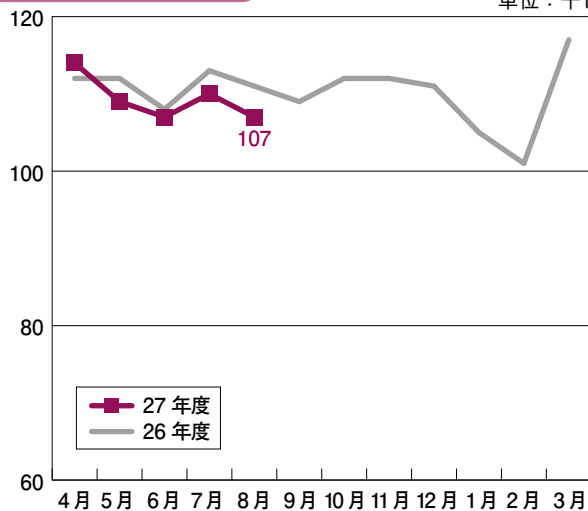
② 特定乳製品向処理量

単位：千t



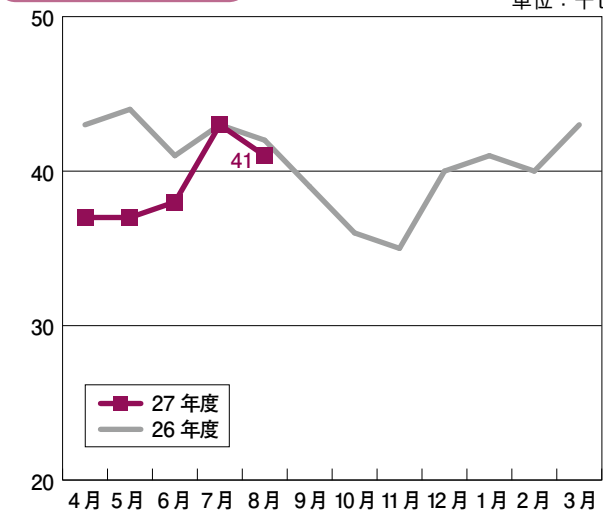
③ クリーム向処理量

単位：千t



④ チーズ向処理量

単位：千t



特定乳製品（脱脂粉乳・バター）の国内生産及び出回り量の推移

※生乳需給動向の指標となる特定乳製品の生産及び消費の動向です。

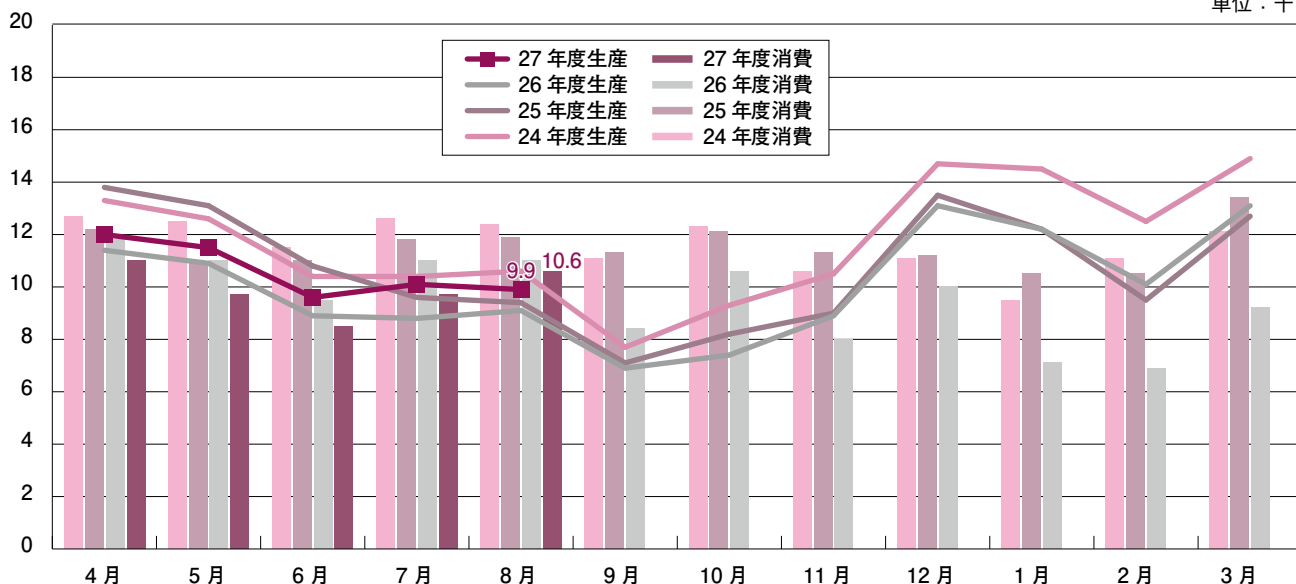
単位：千t

年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量	年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量
2014. 4月	11.4	11.8	6.3	6.4	2015. 4月	12.0	11.0	6.1	5.7
5月	10.9	11.0	5.7	5.0	5月	11.5	9.7	6.0	5.1
6月	8.9	9.5	4.9	4.7	6月	9.6	8.5	5.0	5.1
7月	8.8	11.0	4.7	5.7	7月	10.1	9.7	5.3	4.2
8月	9.1	11.0	4.7	5.2	8月	9.9	10.6	5.2	5.4
9月	6.9	8.4	3.5	3.7	9月				
10月	7.4	10.6	3.9	5.2	10月				
11月	8.9	8.0	4.0	4.0	11月				
12月	13.1	10.0	5.7	5.6	12月				
2015. 1月	12.2	7.1	6.7	4.4	2016. 1月				
2月	10.1	6.9	5.2	5.0	2月				
3月	13.1	9.2	6.2	6.1	3月				
年度計	120.8	114.5	61.5	61.0	年度計	53.2	49.5	27.6	25.5

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、農畜産業振興機構、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課調べ

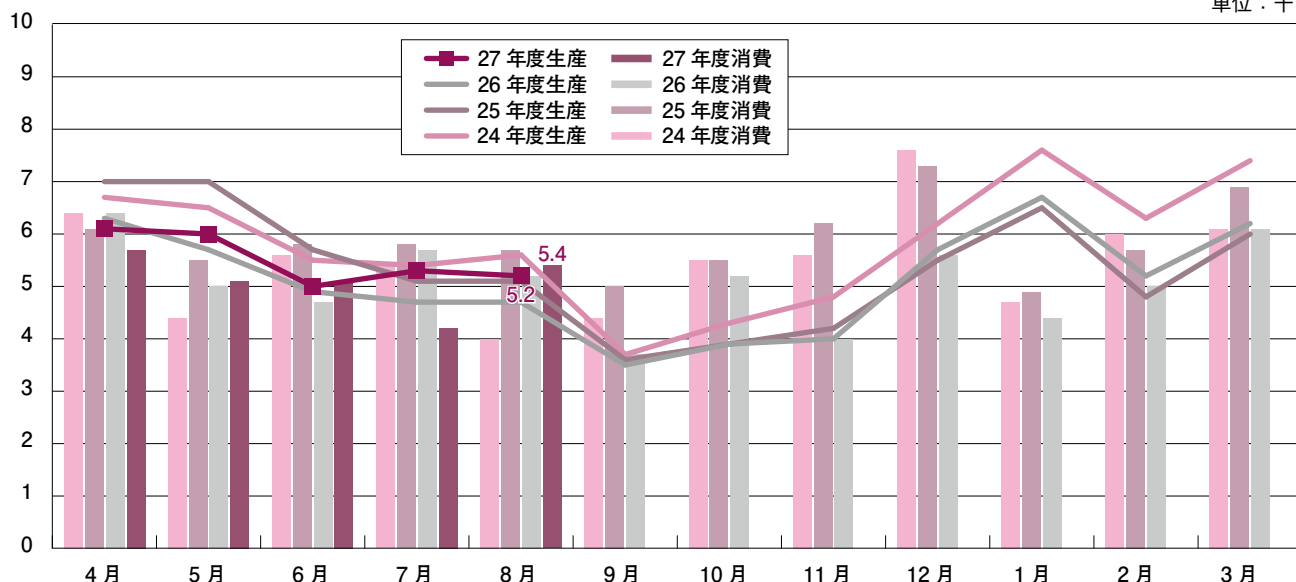
脱脂粉乳の生産及び出回り量推移

単位：千t



バターの生産及び出回り量推移

単位：千t



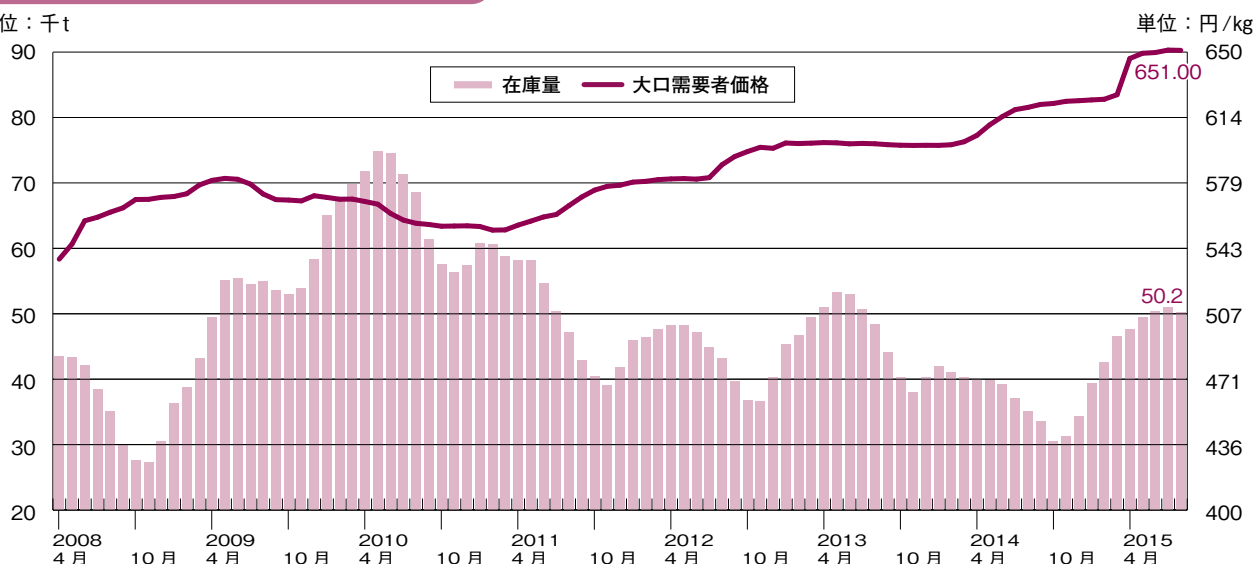
脱脂粉乳・バターの国内在庫及び大口需要者価格の月別推移

区 分	バター		脱脂粉乳		区 分	バター		脱脂粉乳	
	期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格		期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格
年月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg	年月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg
2014. 4月	17.2	1,181	39.9	604.56	2015. 4月	18.3	1,273	47.6	646.56
5月	17.9	1,183	39.8	610.30	5月	19.3	1,255	49.4	649.41
6月	18.1	1,186	39.2	614.85	6月	19.2	1,272	50.4	649.81
7月	17.1	1,199	37.0	618.63	7月	20.2	1,276	50.9	651.15
8月	16.5	1,212	35.1	619.85	8月	20.0	1,272	50.2	651.00
9月	16.4	1,208	33.6	621.48	9月				
10月	15.1	1,213	30.4	622.00	10月				
11月	15.1	1,223	31.3	623.19	11月				
12月	15.3	1,223	34.3	623.52	12月				
2015. 1月	17.5	1,222	39.4	623.93	2016. 1月				
2月	17.7	1,222	42.6	624.30	2月				
3月	17.8	1,221	46.5	626.78	3月				
年度計	201.7	—	449.1	—	年度計	97.0	—	248.5	—

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、大口需要者価格

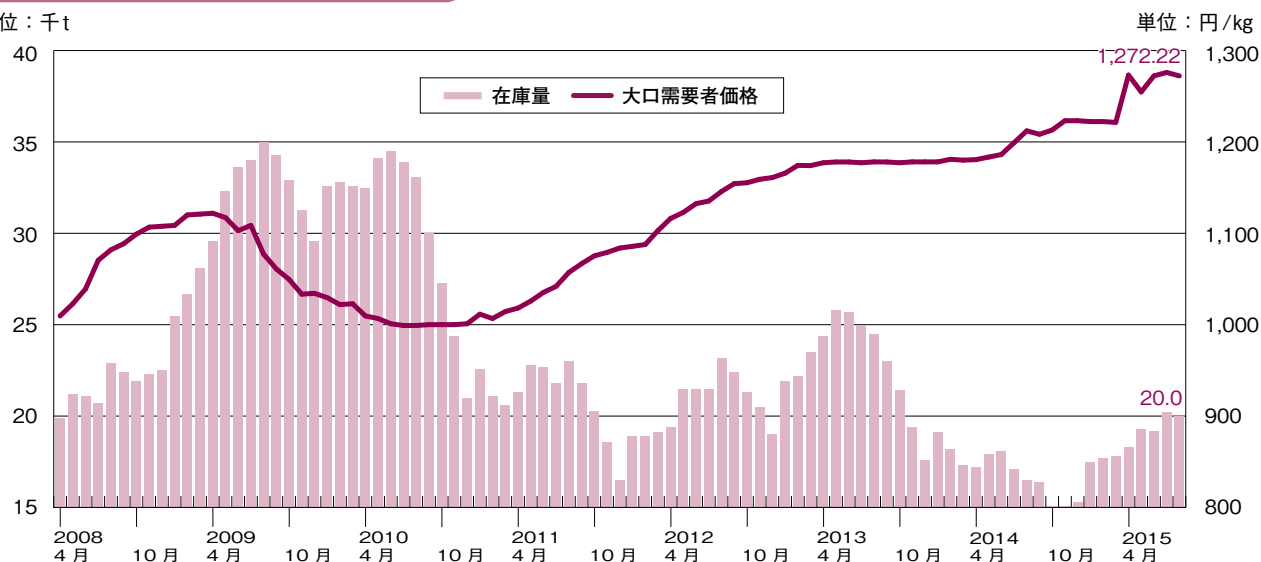
脱脂粉乳 国内在庫・大口需要者価格推移

単位：千t



バター 国内在庫・大口需要者価格推移

単位：千t



私たち全酪連は、 全国酪農青年女性会議協力のもと、 酪農業に対する理解を 深めてもらおうべく、 PR活動を行います！

全酪連では、昨年に引き続き、生産コスト上昇による経営悪化や後継者不足等により酪農家が減少していること、それにより生乳生産量が減少し、このままでは国産牛乳・乳製品が無くなるかもしれないこと。また酪農が日本人の栄養摂取や国土保全の為に果たす役割について消費者の方へ訴え、“国産牛乳を飲んで酪農家を応援していただく”ため、全国酪農青年女性会議の協力のもと、牛乳専用保冷エコバックとチラシを街頭にて配布しPR活動を行います。

まずは、来たる11月16日(月)に、東京の有楽町駅前(東京都千代田区)にて街頭活動を予定しており、その後、全国各地へ活動を広げていきます。

昨年の活動の様子



半澤委員長による街頭演説



酪農家による街頭でのPR活動

全酪連は、今後も消費者の皆様に日本の酪農をより知ってもらい、国産牛乳、乳製品の消費拡大活動に取り組んでいきたいと考えています。

北海道 乳牛産地情報

平成27年9月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
 釧路事務所 TEL 0154-52-1232
 帯広事務所 TEL 0155-37-6051
 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ▲……強含み ▼……やや強含み →……横這い ⇩……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	27~32	→	札幌管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計97.9%、累計で98.6%、苫小牧管内月計で101.0%、累計で100.4%の実績となっている。 10月の初妊牛動向は、町牧からの下牧も始まり資源は出回る時期となっているが、道内の大型農場や道外の需要が高まっているため荷動きは早いものと思われる。相場については、道内の引き合いも強い横這いからやや強含みで推移するものと予想される。F1腹の販売が多いが、ホル腹の販売もありますのでご検討ください。
	初妊牛	50~58	→	
	経産牛	43~48	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	35~40	→	根釧管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で103.9%、累計で101.5%、中標津管内月計で101.3%、累計で100.4%の実績となっている。 10月の初妊牛動向は、12月から1月分娩牛が中心となり、F1腹の引き合いが中心となりますが、雌雄選別腹のオーダーが増えており資源は逼迫している。当事務所管内では新規就農者向けの購買が始まると共に、助成を付けた導入を行う農協もあり、地元での牛の動きも活発化すると予想される。府県からの大型牧場の導入を中心としたオーダーが増えており、相場は強含みで動くものと思われる。荷動きも早くなりますので早めの注文をお願いします。
	初妊牛	57~63	▲	
	経産牛	45~50	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	28~34	→	帯広管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で105.0%、累計で104.3%の実績となっている。 10月の初妊牛動向は、12月から年明け分娩牛の取引が中心となり、道内外の導入が活発化しており荷動きが非常に速い状況となっている。近腹となる11月下旬~12月上旬腹はすでに販売済みである場所が多く、3か月先の分娩腹の購買も出てきている。価格については、市場での引き合いも強く相場は横這いから堅調に推移するものと思われる。腹内容としては、F1腹の引き合いが最も多く、次いで選別腹、ホル腹の順。上記のとおり荷動きが早いいため早めの注文をお願いします。
	初妊牛	55~60	→	
	経産牛	45~50	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	35~40	▲	道北管内の9月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で101.6%、累計で101.1%、北見管内月計で101.0%、累計で100.5%の実績となっている。 10月の初妊牛動向は、12月~1月分娩牛中心となる。農協牧場、町牧場からの下牧も始まり、資源も多くなると思われるが、各市場での出回り頭数は依然として少ない状況であり、要因としては乳価の値上げによる収入増に伴い自家保留の傾向にあると思われる。府県からの注文も徐々に増えており、道内のメガファームの導入も盛んであるため、今後さらに活発化すると予想される。
	初妊牛	55~60	▲	
	経産牛	45~50	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	28~35	→	道内の9月中旬までの生乳生産量前年比は102.3%、累計で101.5%の実績となっている。 10月の初妊牛動向は、12月~1月の分娩牛が主となる。道内外問わず導入が活発化しており、価格についても高値で推移し、このまま来年の春分娩まで高値維持と予想される。道内の導入意欲も強気であり、今後についても新規就農者の導入、メガファームの増頭、導入助成利用による導入など、需要は更に活発化すると見込まれる。10月下旬より夏季放牧からの下牧による資源も多くなると思われるが、出回り頭数は現状維持と予想される。今年についても荷動きが早いいため、あらかじめ余裕を持った購買計画をされますよう、お願いいたします。
	初妊牛	56~60	▼	
	経産牛	45~50	→	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

今月の表紙

はるたは力持ち

今月の表紙は、「第6回酪農いきいきフォトコンテスト」(第44回全国発表大会にて開催)で入選に輝いた作品「はるたは力持ち」(埼玉県 丹野 貴子氏撮影)です。あんなに小さかった子が、もう立派なお兄ちゃんに。山盛りのサイロをきれいに片づけている一枚です。将来が楽しみです。



shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

▼台風18号により、特に関東地方と東北地方で記録的な大雨となりました。浸水等、被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

▼会報に関するご意見・ご要望があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。

編集後記



平成27年10月10日発行(毎月1回10日発行)

ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION

全酪連会報 10月号 No.601

●編集・発行人 大森 一幸

●発行 全国酪農業協同組合連合会

〒108-0014 東京都港区芝四丁目17番5号

TEL 03-5931-8003

http://www.zenrakuren.or.jp/



今月の



入賞作品紹介

すわってるうし。

練馬区立大泉東小学校(関甲信)2年 森川 真衣



今月の入賞作品は、練馬区立大泉東小学校(関甲信)2年の森川 真衣さんの作品です。絵の真ん中にちょこんと置かれた牛さんの存在感が際立っている良作です。前景のグリーン、牛、柵、空をクレヨンの色を使い分けてうまく表現できました。牛さんの体を描いた黒と白のチョークの偶然の混色と、足の力づよい輪郭線が対比して、絵にほどよい緊張感が生まれています。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第42回らくのうこどもギャラリー」で全国588点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催 全国酪農青年女性会議